

福島県支部

循環型社会とはなにか

地方の衰退、中央と地方の二極化、地域間格差の拡大等の問題がここ数年来叫ばれてきている。同時に主に環境問題の視点から最近クローズアップされてきている「循環型社会」の概念は、真に持続可能な社会の実現のためのキーワードとしてその地位を確固たるものにしつつある。

経済現象の面から見れば、かつては地方経済エリアの中で循環型社会が持続的に存在していた。第一次産業が生産し、第二次産業がそれを製品に加工、第三次産業が財やサービスとして販売し、その産業連関のなかで経済波及効果を域内の人々が十分に享受できるシステムが自然体で循環していたといえる。しかし、資本主義社会の進捗プロセスのなかで、競争原理や市場原理が助長され、国際分業化という時代の流れの中で次第に地方での域内循環の環が消失し、地方経済がマクロな経済循環の環から外されていった過程が現在の姿として現出している。

このような現状認識のもと、「グローバルな循環とローカルな循環をマッチングさせることができないか」との発想から今回のプロジェクトが始動した。「地方における循環型社会実現のために」とのテーマにて福島県支部会員に寄稿を求め、9編のレポートを収録。

1. 地域再生戦略としての循環型社会構築
今回のテーマ選定理由と林業からみた循環型社会について
2. 地域産業構造と地場産業からの循環型社会の再構築
行政の政策と主に小売業の取り組みについて
3. 循環型地域社会の形成は人的資源の地域循環から
地域における循環型社会を実現するための地域の人的資源活用について
4. 地方における循環型社会実現のためにー農業を例にとって
農業からみた循環型社会への取り組みについて
5. 循環型社会実現のための環境施策ー廃棄物処理とリサイクル 建設廃棄物
福島県の取り組みおよび県内建設業界の廃棄物処理に対する取り組みについて
6. 「事業継承・自社株対策」について
ゴーイングコンサーンとしての事業継承について
7. 発展途上国の森林保護問題
ベトナムの森林保護活動について
8. 蓬萊町循環
空き家の活用等団地の再生について
9. 循環型社会に適応した創業活動
創業活動から見た循環型社会について